

「電力」という、大きな力。

人のため、地域のため、環境のため
技術と新しい発想を武器に
電力システム改革の最前線を走る。



先輩社員の声



住友共同電力株式会社
SUMITOMO JOINT ELECTRIC POWER CO.,LTD



CONTENTS

< 住友共同電力株式会社 >

総務環境部	総務チーム	眞鍋 義知	03
総務環境部	人事チーム	渡邊 大輔	04
経営管理部	経理チーム	秋月 雅俊	05
経営管理部	企画チーム	井上 朋美	06
経営管理部	営業チーム	首藤 祐里	07
経営管理部	新規事業チーム	長井 はるか	08
技術部	機械チーム	加藤 拓也	09
技術部	電計チーム	伊藤 嘉徳	10
技術部	土木チーム	荒井 翔太	11
発電部	火力運転課	藤田 祥吾	12
発電部	水力変電課	伊藤 篤	13

< 株式会社住共エンジニアリング >

施設部	機械グループ	矢野 卓	14
施設部	電計グループ	日野 俊洋	15

< 株式会社住共クリーンセンター >

営業企画部	事務営業グループ	由藤 宗召	16
-------	----------	-------	-------	----

総務、税務、会計、法務：特色は、
マルチタスク。企業経営の根幹に
関わるやりがいと誇りがある。

住友共同電力株式会社
総務環境部 総務チーム

眞鍋 義知



これまでのキャリアを振り返って

入社後はじめての仕事は、社宅・寮の合理化計画の推進とリニューアル工事の担当でした。その後、株主総会・取締役会といった組織運營業務、広報業務や法務関係の専門的な業務、対外交渉業務や採用業務などを経て、現在は、総務業務と人事業務の一部を担当しています。最近の大きな案件としてホームページのリニューアルや当社グループの最適な組織運営の検討などに取組んでいます。また、2010年から当社初の四国外新規事業として川崎バイオマス発電所の初期メンバーとして立上げ業務全般に関わることができたのも貴重な経験でした。

共電ならではの魅力

業務の区割りが大きい企業と違い、当社では様々な仕事を経験でき視野を広げることができます。仕事を通じて達成感や自分の成長を実感できるのがやりがいのひとつです。手を挙げればいろいろな仕事を経験させてくれるチャンスがあり、若いうちからビッグプロジェクトを任せられることは、大手の企業にはない共電ならではの魅力です。また、社員同士の距離が近くてフレンドリーな社風も、他社にはない魅力だと思います。

これからの目標とメッセージ

共電には目標としたい先輩たちがたくさんいます。とてつもなく忙しい時でも、とんでもないトラブルが起こった時でも、普段と変わらずひょうひょうと仕事を進めるタフな先輩が何人もいます。その方たちを目標にしながら、将来の目標は、どんな場面でも「楽しく仕事をしていたい」「自分自身が裁量権を持つ仕事が出来たい」です。また、「眞鍋がいないとダメだ」と言ってもらえるようになりたいと思っています。自分のアタマで考え、自分のポリシーをもって責任感あふれる仕事をしてくれる若い方々と一緒に新しい共電をつくっていききたいですね。



人事の仕事でのこだわりは、
社員の個性を活かしながら、
多様性のなかから連帯を生むこと。

住友共同電力株式会社
総務環境部 人事チーム

渡邊 大輔



これまでのキャリアを振り返って

入社してからこれまで人事に所属し、給与関係、社会保険関係、採用・教育関係、人事システム構築、人事制度構築とほぼ人事業務全般を経験しました。現在は、労政関係・整員関係業務が主な仕事です。発電に関わる電気・機械・土木などの技術系社員から事務系社員まで人材は多様であり、まさにダイバーシティの典型といえます。さまざまな個性の方々との調和と連携を保ちながら、個人の個性を活かすことでやりがいを感じてもらうための環境づくりやサポートが人事の仕事の醍醐味のひとつだと感じています。

共電ならではの魅力

チームワーク・協調性を重視し、人と人とのつながりを大切にする社風があり、私も、これまで「相談できる人事」を大きなテーマとして業務に取り組んできました。働く人を知ると同時に、各部やグループ会社の仕事を知ることが大事であると日々痛感しています。一緒にひとつの目標を達成した時、また、期間を区切られたプロジェクトを無事完遂できた時にはやりがいとともに成長の手ごたえを感じられます。また、長年地域に根ざして事業を行っているため、地元から信頼されていると感じることが多く、電力供給という仕事で地域に貢献していることが実感できることは当社で働くことの大きなやりがいのひとつです。

これからの目標とメッセージ

電力自由化への対応は、当社の社風や経営理念を念頭に置いた上で取り組んでいくべき当面の課題のひとつです。会社の進むべき方向性に対し、人的側面でフォローし、電力システム改革に対応できる体制づくりに微力ながら貢献したいと考えています。

また、やってみたことのない仕事であればなんでもやりたいと思っています。

これから、仕事に対するやる気・熱意がある若い方々と、一緒に楽しく仕事をしていきたいですね。



数字を見る。仕事を見る。
そしてグループの未来を見る。
経理の奥深さを楽しむ毎日。

住友共同電力株式会社
経営管理部 経理チーム
秋月 雅俊



これまでのキャリアを振り返って

最初は電力のことは何も知らない状態でしたが、約2か月の現場教育を受け、発電所に関する最低限の知識を学びました。その後、経理チームの一員として、共電の固定資産関係の経理業務を担当しています。共電は膨大な数の固定資産を保有しており、修繕や更新を絶えず行っているため、固定資産の管理は重要です。データや書類上だけではなく、5ゲン主義で現物の固定資産を見て学んだことから、経理業務において固定資産のイメージがしやすいです。また、共電グループ全体や社会の情勢、流れを見極めながらすすめていく経理の仕事は、企業経営の根幹に関わる重要な仕事であるだけにやりがいもあります。



共電ならではの魅力

現代の快適な生活を送るために必要不可欠な電力を供給する仕事は以前から興味があり、入社を決めました。共電は、いつでも楽しい雰囲気の仕事ができるところが素晴らしいと感じています。ほぼすべての方が安定して定年まで働き続けられる会社であることも、働く人にとって最良の環境であることの証明だと思います。



また、いろいろな仕事を経験でき、周りのフォローも大変充実しています。

問題を見つけた時に、周囲のサポートを得ながら無事解決できたときには、一人ではなくチームで仕事をしている実感がありました。特に、決算業務においては、チーム一人一人の進捗状況を確認し、お互いに助け合いながら業務に取り組みました。

これからの目標とメッセージ

今後は、連結関係の仕事や法人税の申告等の仕事をしたいと思っています。

また、事務所での作業が多いものの、実際に現場に行き現物を見て、現場第一で現場を知りたいと思います。さらに、電力システム改革や税制改革等の経理に影響のあることについて、積極的に情報収集・分析を行い、業務の改善に活かしていきたいです。共電は入社してから研修制度の充実や通信教育制度等、学ぶ人を応援する会社です。

ぜひ時間を有効に使って、自分のために知識を深めていってほしいと思っています。



今日も、明日もポジティブに。
お客様と各部や社員との
架け橋になれる仕事を楽しみたい。

住友共同電力株式会社
経営管理部 企画チーム
井上 朋美

これまでのキャリアを振り返って

入社から現在まで、電気料金の計算や官庁届出書類の作成など電気事業に関するさまざまな業務を行なっています。共電では、これまで主に住友グループの各工場を主要な顧客として電気を供給してきましたが、電力自由化で販売先が多様化し、法改正も頻繁にあるため、限られた時間で他部署と連携しつつスムーズに業務を進める必要があります。書類提出までは調べ物や他部署とのやりとりが多く、締め切りまでの時間も短いので緊張する日々が続きますが、無事書類が作成でき、提出できたときは大きな達成感を感じられます。

共電ならではの魅力

共電には、若手に、そしてもちろん男女問わず責任ある仕事をさせてもらえる社風があり、やりがいを感じています。周囲には、仕事の全体を把握して、的確なアドバイスをくれる方々がたくさんいます。普段あまり話をしない人が声を掛けてくれて心配してくれたことがありました。自分のことを気にかけてくれている人が居ることを知り、人と人との繋がりを大切に楽しく仕事ができる会社だと改めて感じ、ますます頑張ろうと思いました。

これからの目標とメッセージ

自分自身の性格は、とにかくポジティブです。気分転換は、笑うこと。オフは仕事のことをできるだけ忘れ、楽しんでいます。将来は、今の仕事をもっと深く理解していき、周りの人がしている仕事にも興味を持って知識を増やしていきたいと思っています。電力自由化に伴って電気事業に他業種からの参入もあるので、その辺の情報もしっかりキャッチしていきたいです。そして、電力業界の変化を敏感に感じ取り、いろいろな情報を収集して自分の知識向上に繋がりたいと思っています。電力自由化で、今までは考えられなかった電力販売もできるようになってきており、当社にとって最適な方法をこれまで以上に精査して行う必要があるため、その検討に携わり収益増に貢献したいと思っています。



自分らしく、日々あたりしく。
どんなときも、笑顔で過ごすことが、
いい仕事につながると思う。

住友共同電力株式会社
経営管理部 営業チーム
首藤 祐里

これまでのキャリアを振り返って

お客様との窓口として、電気を供給するのに欠かせない契約締結業務や、電気料金の計算業務等を担当しています。お客様からのお問合せへの対応はもちろん、既存契約の見直しや新規契約の締結に向けた交渉や手続きも行いますが、その過程では他部署との連携が不可欠です。社内外の様々な人との繋がりの中で仕事を進めていく過程は一本道ではありませんが、だからこそ魅力的で、やりがいを感じています。

共電ならではの魅力

現在所属している部署には、技術部門出身で経験豊富な先輩が多く在籍し活躍しています。事務系社員として採用された私も、入社直後に現場を知る機会があり、火力発電所に2か月間勤務しました。現在の部署で仕事をする上で、技術的知識を必要とする場面が多々ありますが、発電所で知り合った人たちに今でも気兼ねなく相談できるので大変心強いです。このように他部署との距離が近いアットホームな社風だからこそ、創意工夫を凝らした取組みが社員一丸となって進められ、新規事業の立ち上げや、業務改善によるコスト削減など様々な成果があげられているのだと感じます。

これからの目標とメッセージ

「しんどい時こそ笑顔を忘れない」。それが、大切にしている先輩からのアドバイスです。知識・経験不足から上手い出来ないことも多々ありますが、常に「前向きな姿勢」と「人と人との繋がり」を大切にすることを心がけています。また、電力システム改革という事業環境の変化をビジネスチャンスと捉え、情報収集能力やフットワークの軽さを武器に活躍している先輩方を目標にして、現状に満足することなく日々の業務に取り組んでいきたいです。



目に見える形になる。
その面白みが、日々の業務に
より高いモチベーションを与えてくれる。

住友共同電力株式会社
経営管理部 新規事業チーム
長井 はるか

これまでのキャリアを振り返って

入社後、発電部へ配属となり、火力発電所の仕組みを学びました。その後、経営管理部の新規事業チームへ異動となり、発電についての知識を生かしながら、バイオマス発電事業のプロジェクト管理業務を経験しました。現在は、CO2削減に繋がるプロジェクトの研究やその他の新規事業立案業務に励んでいます。新規事業チームとしての主な業務は、新たな事業の立案です。新規事業というと、一見華やかな仕事のようにも見えますが、実際には情報収集から始まり、事業スキームの構築、関係法令の確認、それらに伴う社内外の調整および交渉、リスクを含めた事業性評価の作成など地道な業務も多く、検討の結果、事業化決定に至らず、人目に出ないまま終わってしまう事業計画も多々あります。様々な事業検討を通じて社内外の多くの方と関わりを持つことが必要となり、難しくもありますが、とても刺激的な毎日です。さらに、関わる事業が前に進み出したときの充実感は非常に大きなものがあり、より高いモチベーションを与えてくれます。

共電ならではの魅力

技術系、事務系の境なく、広いフィールドで活躍する場を与えられるところが共電の魅力だと思います。様々な部署で経験を積むことによってより広い視野を持つことができ、これからの自分の可能性を広げることができると思います。また、男女問わず貴重な戦力として認め、大事な仕事も任せてくれています。女性のこれからの活躍に期待する雰囲気が全社的に感じられることは、大きな励みになっています。

これからの目標とメッセージ

平日は仕事、週末は気分転換にお出かけ…仕事もプライベートもどちらも自分の人生なので楽しく過ごせるように心がけています。自分が何をしなければならないのか、何がしたいのかを整理し、一日の限られた時間を最大限に有効活用することが大切です。

将来的にはプロジェクト全体を統括し、けん引できる人材となることを目標としています。そのためには学ばなければならないことが沢山ありますが、業務の基礎知識だけでなく、大きく変化する電力業界の動向や、それに伴う会社の方向性・戦略など、幅広い情報を収集しながら成長したいです。



日々、改善や改革に挑む。
その先に、未来の発電ビジネスの
可能性が広がっている。

住友共同電力株式会社
技術部 機械チーム
加藤 拓也

これまでのキャリアを振り返って

これまで火力発電所の運転業務、他社のバイオマス発電での試運転派遣業務などを経験し、現在、発電所の安定操業や効率的な運用に向けた火力・水力発電所の機械関係設備の課題対応や新技術導入など幅広い検討業務を行なっています。

具体的には、トラブルの原因調査、対策立案、発電所の効率的な運用に向けた検討（設備の改善や燃料の利用方法など）、さらに新技術の導入検討や新燃料の利用計画などです。従来の方法や考え方にとらわれることなく、常に改善や改革に積極的に取り組むチャレンジングな仕事がとても気に入っています。

共電ならではの魅力

共電には異なる発電方式の発電所や、様々な年代の設備など、多種多様な設備があり、いろいろなテーマに取り組めることが魅力だと思います。自分が検討・提案したことが採用され、発電所の安定かつ効率的な運転に貢献できたとき、やりがいを感じます。新技術の導入検討は常に良い結果が出るものではなく、検討段階で断念せざるをえないものも多々あります。しかし、その検討段階で得た知識や経験、人脈は次の仕事でも必ず活かすことができるので、常に何か自分のものにしながら取り組んでいくことが大切です。

これからの目標とメッセージ

もともとインフラ系の仕事に興味がありました。その中でも、自分の地元で働けることと、会社訪問で働きやすい雰囲気を感じたことが決め手となり、入社を決めました。今後も、多種多様な業務に積極的に取り組み、複数の業務を段取りよくこなせるような人材になることが目標のひとつです。いろいろな仕事に挑戦して、会社の力になれるよう、知識と経験を身に付けていきたいと思っています。いろいろな部署・年代の人がいますので、コミュニケーションを楽しむことができる人には最高の環境だと思います。



フットワークの良さと全社大での団結力
大手企業並みの活動エリアをベースに
さらなる改革に挑む。

住友共同電力株式会社
技術部 電計チーム
伊藤 嘉徳



これまでのキャリアを振り返って

入社後に配属された火力部運転課では石炭火力発電所の運転操作や仕組みを学び、その後、火力部技術に異動し、火力発電所に関する技術検討を行いました。次に配属された技術部では火力に加えて水力・変電・送電に関する技術検討も行いました。その後、東京へ出向となり、電力の地域間連系線の運用業務などを経験してきました。その後、新居浜に戻り、現在は技術部電計にて、再び電気関係の設備検討・技術検討を行っています。発電のあらゆる領域について関わることができ、社内外の専門家との意見交換などを通じて広い知見を得られることが大きな魅力だと思います。

共電ならではの魅力

共電の特色はフットワークの良さと大手企業なみの歴史と活動エリアを持っているところだと思います。新しいことにも積極的に取り組んでおり、最近ではIoT活用についても検討しています。だからこそ当社には大小新旧いろいろな情報が集まり、社員はそれに触れることができます。当社はその情報や個人のアイデアを活かした業務改善の提案を推奨しています(改善提案制度)。改善提案制度のサポートもあって社員それぞれが今よりも良い仕事をしようという改革意識を持って仕事をしています。現状に満足せず、改革意識の高い仲間とともにさまざまな改革・改善のアイデアを実現に向けて協力して働けることにやりがいがあると考えます。

これからの目標とメッセージ

当社は上司・先輩との関係が近く、みなさんそれぞれ個性的です。こだわりの強い人、プロジェクトの進め方がうまい人、冷静沈着な人、優しく面倒見が良い人、それぞれのいいところを目標として成長していきたいと考えています。電力自由化によって、競争が激しくなる一方、ビジネスチャンスも大きく広がっていくと思います。そういったビジネスチャンスを活かすため、当社は新たな取り組みに挑戦していきますが、これまでの経験を活かし、新たな取り組みの先頭に立ってチャレンジしていきたいと考えています。



土木・建築の知識を電力事業で活かす。
地域社会や産業の発展、そして
人々の幸せにつながる実感を得ながら。

住友共同電力株式会社
技術部 土木チーム
荒井 翔太

これまでのキャリアを振り返って

現在、土木・建築工事における設計から施工、そして保全管理などに取組んでいます。
当社では、愛媛県東予地域に3つの火力発電所と愛媛県・高知県に11ヶ所の水力発電所を保有しており、こうした発電設備の性能を発揮するためには、土木建築設備についても定期的なメンテナンスや改善工事、改善業務などが欠かせません。
老朽化した設備のリニューアルをはじめ、土木建築設備の修繕・改善工事もいろいろと担当していますが、これらの業務は全て発電所の効率的かつ安全な操業に直結する重要な仕事であり、電力の安定供給を根本から支えているという自負と誇りを感じる仕事だと思っています。

共電ならではの魅力

自分が設計した構造物が無事完成したときや、定期点検などで問題なく稼働し、設備が使用されているのを見た時、大きな達成感を感じます。共電は、若い人の発言も聞いてくれる先輩がたくさんいることや自分の気がつかなかった能力も引き出してくれるような新しい挑戦の場を用意してくれます。
やる気と能力が十分に発揮できるチャンスを与えてくれるところが魅力であり、やりがいを感じる大きなポイントだと思います。また、発注者としてメーカーをはじめ色々な業種の方と交流し、知見を広めることができるのも魅力ですし、地元との関係が良好で毎日の仕事を通して地域社会に貢献している手ごたえを感じることもできます。

これからの目標とメッセージ

誰からも信頼される先輩になり、自分の担当の仕事については誰よりも熟知した頼られる人材になりたいと思っています。また規模や種類に関わらず、発電所建設工事の担当をたくさんしていき、自分の手で想いをカタチに変える体験をしてみたいと思っています。
これから、行動力がある人たちとチームを組んで、いっしょに新たな建設工事業務や設備の改良・改善業務などに挑戦できたら、楽しいだろうと期待しています。



日々、着実にかつ貪欲に。
現場の第一線で
安定運転を支える。

住友共同電力株式会社
発電部 火力運転課（西火力）
藤田 祥吾



これまでのキャリアを振り返って

入社後すぐに、西火力発電所の運転保守業務を担当しました。そのとき、「電気は24時間使用出来て当たり前」と言う、発電所としての大きな使命(安定運転)に貢献すべく、不明点の追及と理解への貪欲さが重要だと言うことを学びました。現在の仕事は、火力発電の安定運転を見守るのですが、その多くは、集中指令室でのオペレータ操作、トレンド監視、機器の起動停止の切替、弁開閉の監視等です。また、現場パトロールにも行き、異音、振動、漏れ等がないかを確認しています。毎日、電気を安定して供給することは、電気を使う方の満足や笑顔につながっていると思うところにやりがいと責任を感じています。

共電ならではの魅力

共電の魅力は、若手にも常にチャンスを与えてくれるところだと思います。また、与えられたチャンスを、先輩方一人ひとりが責任を持ちつつ正確に完遂しているところがすごいと思います。実際に、入社間もない私にも、省エネ活動や運転指針改定等、責任を必要とする仕事(チャンス)を与られています。職場の方々が、自分が改定した運転指針を反映しながら作業してくれたときには、達成感と大きな満足感を感じさせてもらいました。

これからの目標とメッセージ

大きな目標として、高難易度資格を取得し、数少ない貴重な人材になることを目指したいと思っています。今後は、新たな電源確保、価格競争に打ち勝つため、さらなるコスト削減の実施など、課題は多いと思います。電力自由化への対応では、今までと違った仕事にもチャレンジすることが求められるため、新しい一歩を踏み出すチャンスです。指示された内容に対して何も考えずに行動するのではなく、物事の背景や目的を意識しながら行動できるようになりたいと思っています。仕事を通じて多くの人と関わり合い、互いに刺激あって、自分自身の成長につなげていきたいと思っています。



身につけた技術と
新しい発想を武器に
電力システム改革の最前線を走る。

住友共同電力株式会社
発電部 水力発電課 (NOC)
伊藤 篤

これまでのキャリアを振り返って

入社後、火力発電所の運転業務を経験し、そこで発電の基礎を修得しました。そこで学んだものを活かし、国内初の都市型バイオマス発電である、川崎バイオマス発電所の試運転業務を担当し、新たな知識と経験を積みました。

その後、再生可能エネルギーとして注目を集めている水力発電の運転保全を経て、当社の電気の需要と供給のバランスを調整する給電業務を行なっています。東日本大震災以降、注目度の高い電力業界では、単に発電を行うだけでなく、新エネルギーの開発・導入や電力の安定供給を通じて従来以上の貢献が求められています。

現在は電力システム改革の実務面の検討にも挑戦しており、前例がない仕事が多く大変な時もありますが、社会的使命の大きな仕事であり、その一旦を担うことに誇りと責任感を強く感じています。

共電ならではの魅力

共電は、規模は小さいですが、火力・水力・バイオマスなどの多様な発電所を運用し、建設も手がけており、国内各地さらには海外で働くチャンスもあります。また、電力システムの改革などに対しても若手にチャンスを与えてくれます。私自身もこの大きな制度変更では、それに向けての準備・検討等を任せられました。4月1日からの制度変更は無事対応できたことには達成感を感じることができ、次のステップへ進み、さらに高みをめざす意欲へとつながりました。

これからの目標とメッセージ

どの部署も少数精鋭でやっています。実業務においてミスなく誰でも簡単に行えるシステムの構築を目指していきたいと考えています。電力システム改革が進み、電力自由化や再生エネルギー利用促進など課題は多く、これからあらゆる業界の会社がライバルとなることも予想され、新しい発想が必要となってきます。従来の発想ややり方にとらわれることなく、改革意識のある若い方々と一緒に新しい共電をつくっていく挑戦をしていきたいです。



自分の提案がトラブルを解決。
今までの苦労と努力が報われ、
大きな達成感と満足感を得る瞬間。

住共エンジニアリング株式会社
施設部 機械グループ
矢野 卓

これまでのキャリアを振り返って

入社後、火力運転の担当から3年ほど国内外新設プラントでの試運転派遣業務を経て、現在は、小水力発電設備のリニューアル工事など、水力発電設備の保全業務を行なっています。大切にしている仕事に対するこだわりは、機械のあるべき姿を大切に、機械にとって一番優しいことは何かを考えて点検、分解、整備することです。この仕事をしてよかったなと思うことは、特に、自分の提案によってトラブルが解決されたときに大きな満足感と達成感を得られることです。それは何度でも味わいたい、自分の努力が報われる瞬間です。

共電ならではの魅力

電気に関わるインフラ事業であるため、時期によっては非常に忙しくて大変な時期もありますが、その苦しい時期を乗り越えるたびに自分が強くなっている気がします。当社の特徴としては、火力発電や水力発電など多様な施設の建設や運転を手がけているため、学ぶことが多く、仕事も楽しく感じられます。また、地域に根ざし、社員を大切にする会社で、勤務・厚生面を含め働きやすい職場環境です。こうした当たり前のことがしっかり整っていることは、入社を決めたきっかけの一つです。

これからの目標とメッセージ

まだ経験も少なく、今は業務内容や会社のことについて深く知る期間だと思っています。

将来の目標は、何か1つの分野でも特化している人になることです。

電力自由化は、やり方によって新しい事業展開が図れるいい機会であると思います。

自分ができることは、会社の目標でもある低廉、良質な電気の必要量を安定供給すること
に貢献することです。これからも、そこにこだわっていきたいと思っています。

また、人の意見を最後まで聞いてそれに対してきちんとコメントできる若い人、そして、
人の優劣をつけずにみんなで仕事をやろうとする人と一緒に仕事ができれば幸せです。



派遣や出張などで地球を約3周。
メーカーにも負けない技術力と
ノウハウがあるから、どこでも闘える。

住共エンジニアリング株式会社
施設部 電計グループ
日野 俊洋



これまでのキャリアを振り返って

入社後は火力発電所の運転員として火力発電の仕組みを学び、2年目から2年間、地球の裏側にある南米や国内で、発電所建設の試運転に取り組む派遣業務を経験しました。

その後、発電所電気設備に関する設計派遣業務に従事し、現在は、当社火力発電所の電気設備に関する保全業務を担当しています。

また、これまでの派遣業務で培った知識を活かして発電所建設のコンサル業務にも参加しています。“今を生きる”をモットーに日々の業務に就いていますが、入社から現在までに仕事上で移動した距離は地球3周分に相当し、当社の中で一番遠くまで派遣に行ったことが、私のキャリアの特色です。その体験を通じて人脈や経験などたくさんの財産を得られたことが大きな魅力だと感じています。

共電ならではの魅力

共電の仕事は、一人では進められない仕事であることが特徴です。たとえば、発電所の中の電気設備は大きいため一人の力では太刀打ちできず、チームで対応しなければなりません。これは現在の保全業務に限らず、設計や試運転業務においても共通です。チームワークを保ち、チームで一つの工事等を完了させたときの達成感は何物にも代えられません。特に、2年半設計に携わった発電所が初めて発電を開始したときの達成感が記憶に残っています。お客様の発電所の中央制御室で思わず涙が出てしまった忘れられない出来事でした。

これからの目標とメッセージ

長年に渡る発電所運用の経験から、運転面でも保全面でも、メーカーと対等に渡り合える技術力があることが共電の強みだと思います。

そうした技術力と経験をベースに、新たな発電所建設業務等に取り組みたいと思っています。その際は、電気設備に愛情を持って接することができる人にぜひ参画してほしいと思っています。お互いの強みを活かしながら一緒に仕事ができれば、新たな可能性が開けていくと信じています。



初めてをつくる。できなかったことを
やってみる。共電のDNAを受け継いで
次を生み出していく面白さを感じながら。



株式会社住共クリーンセンター
営業企画部 事務営業グループ
由藤 宗召

これまでのキャリアを振り返って

入社後配属された火力発電所で5年間ほど運転業務を経験し、その後海外プラントの試運転派遣業務、さらに3年間の発電設備に関する設計派遣業務を経て、現在は、石炭灰に関する新規検討業務を担当しています。業務では、石炭灰の利用先を開拓するとともに、新たな具体的な利用方法を検討しています。当社は石炭専焼ボイラを主力としており、石炭灰の処理は切り離せない問題です。廃棄されていたものを活かして新たな価値を生んでいく。その仕事には、柔軟な着眼や行動力が求められ、夢中になれる醍醐味と魅力があります。

共電ならではの魅力

共電には、新しいことにチャレンジし成功しているプロジェクトがあり、新規ビジネスを推進していこうとする社風が根付いていることを実感します。石炭を燃焼させて残る灰の有効利用プロジェクトも、その社風を受け継ぎ今後発展させる業務であり、この業務では様々な業種のプロフェッショナルの方達と交流する機会も多く、自分に対して非常にいい刺激になっています。

また、年齢や経験に関係なく大きな仕事や海外で働く仕事にもチャレンジさせてもらえることは、共電としての大きな魅力だと思います。

これからの目標とメッセージ

現在は他社の方と話をする機会も非常に多く、たとえば、共電の灰の担当者は『灰のマイスターだね』と呼ばれるような社外の人からも認知される人材になりたいと思います。

電力自由化など電力システム改革によって、電力会社間の競争も激化してくると思います。そういった環境の中で、石炭火力発電所から生じる石炭灰の有効利用用途を新たに開拓することで、会社に貢献していきたいと思っています。

